

12月の園だより

主題：喜び合う

聖書の言葉：

「神は、その独り子をお与えになったほどに世を愛された」

(ヨハネ3：16)

11月1日から、園児募集が始まりました。吉野幼稚園は、吉野地区にほとんど知られていないという方がいます。モンテッソーリ教育の吉野幼稚園として知られるよう、保護者の皆様のご支援をお願いいたします。

11月17日の表現発表会へのご協力ありがとうございます。子どもたちが行事を一つ一つ克服しながら、確かに成長してゆくことを実感されたと思います。

さて、いよいよ十二月です。表現発表会からちょうど一か月、12月16日には「聖劇」があります。ながい伝統を負った風格ある衣装を身につけた子どもたちがながいセリフを憶えて、懸命に演じるイエス様の誕生物語は、カトリック教会を母体にするわが吉野幼稚園の特に大事な行事の一つです。どうぞ、ご家族皆さままでご覧いただきますよう、お願いいたします。

聖劇がおわると、間もなく終業式。平成29年も間もなく逝きます。

よい子の皆さんは、ご家族と一緒に新しい年を迎える準備に入ります。各ご家庭で、新年の迎え方は異なりますが、昔から、日本では、「年神様」を迎えるための行事が、各家庭で、ほぼ同じ形で、しめやかにとりおこなわれたのでした。神が降りてこられる目印として、庭に門松を立て、神のお通りになる道にシラスを播いて清め、お餅を搗いて、飾りを付けて、神様にお世話になる所すべてにお

家族全員、風呂で身を浄

宗教によって、また地

ろいろいろありますが、「神」

新しい年の恵みを願うお

「神」を敬い、身を慎む

れになった、その何千年

深く畏れ、祈りました。

七十年前の太平洋戦争に敗れて以来、日本人の生活様式は変わり、むかしから引き継いで

きた「神」への祈りが急に希薄になりました。引き換えに、怖ろしい事件が日本にも増えました。

日本人が祈りを取り戻すことは大事です。歳晩から新年に掛けて、「神」に祈る機会が増えます。

どうぞ、子どもたちがより深く知る機会になりますように、お祈りいたします。



供えて、神に感謝をささげたのです。

め、年神様にお祈りをしたのでした。

方によって、正月を迎える儀式の形はい

に一年間の御恵みを感謝し、身を慎んで、

祈りは、人のあるところどこも同じです。

心は世界中同じです。イエス様がお生まれ

も昔から、人類は「神」を知っていて、

(園長 郡山 健次郎)